

や ま ぎ と
山 里



東郷小学校だより

令和5年度7号(通322号)

令和5年10月12日

文責：前田 洋光

レッツ結束！本気を出せる運動会にしよう

今年度は熱中症事故防止のために9月30日(土)に延期し、秋季大運動会が行われました。また、4年ぶりに地域の方々をお招きし開催できたことを大変嬉しく思います。子どもたちは、スローガン「レッツ結束！本気を出せる運動会にしよう」を合言葉に意欲的に頑張りました。各競技も応援も、組頭や応援団長を中心にまとまる姿が見られ、東郷小っ子の大きな力を感じました。また、閉会式では、自然とあふれる悔し涙で語る姿がありました。その姿は一生懸命に頑張ったからこそその姿であり、会場全体が心から感動する場面でした。今回の運動会を通して、一つにまとまる力や最後まで諦めずにやり通す力など一人一人が多くの力を身に付けることができました。その力を今後の学校生活に生かして行ってほしいと思います。

また、保護者の皆様のご協力、家族や地域の皆様の温かい声援などお力添えをいただき、誠にありがとうございました。めんこい東郷っ子を今後ともよろしく願いいたします。



強くしなやかな心を共に育てる

～ レジリエンス(回復力・耐久力)を高めるために ～

最近、子どもたちのレジリエンスの低さが問題視されています。目の前の困難を自力で乗り越えられず、学校生活等に不応を起こしている場合があります。不応(不登校)の未然防止のために、レジリエンスを高める必要があります。

- その方法として
- 1「誰かと比較せず、ほめる。」
 - 2「結果ではなく、プロセスをほめる。」
 - 3「小さな目標達成を繰り返す。」
 - 4「家族の絆を伝える。」
 - 5「適度に助け、適度に自立させる。」
 - 6「とらえ方をサポートする。」
- だそうです。

上記の方法の重要ポイントは、家庭と学校が共に育てるために共通理解を図ることです。特に大事なことは、5番の「適度に」の内容をお互いに語り合い、共通理解することです。是非、情報交換し、お子さんのために一歩前進をお願いいたします。児童それぞれの困難を乗り越えさせていきましょう。

保護者面談 ありがとうございました！

大変お忙しい中、ご来校いただき、誠にありがとうございました。心身ともに大きく成長が期待できる子どもたちのために、家庭と学校の連携がとても重要です。今後ともよろしく願いいたします。